



校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥
平成31年2月27日
☎55-2260 第11号

教育目標

ふるさとに誇りをもち
夢と希望に満ちた
心豊かでたくましい児童の育成



気遣う心を大切に

暦の上では雨水が過ぎました。雪が雨に変わり雪解けが始まり、忍び寄る春の気配が草木にも見え始めています。これから三寒四温が繰り返され春の訪れを感じられることが多くなってきます。三月は卒業式、修了式に向けしっかりとまとめを行っていきたいと思います。

さて、毎朝夕の通勤時のことです。無理矢理、追い越しをする人や無理な割り込みをする人がいます。それなりに言い分や思いがあると思いますが、周りに対する気遣いや礼節に欠けていて、相手に不快な思いを与えていると感じない人がいます。

学校でも、周りの人たちに対する気遣いや礼節に関してのトラブルは見られます。些細なことから、相手の嫌がる言葉や心を傷つける言葉をかけてしまい、けんかへとつながることもその一つです。学校では、その都度、子どもたちの言い分をよく聞き、正しいことは正しいと教え、正しくないことは、なぜ正しくないのかを教えます。その時に考えてほしいことは、相手の気持ちです。相手がどんな思いをしているのかを共感できるよう指導を行っています。相手の思いを分かってあげられる子どもに育てば、素直に「ごめんなさい」や「ありがとう」が言えるようになります。月立小学校でも、相手に嫌な思いをさせた時に相手を気遣う心から素直に「ごめんなさい」と言える子どもばかりではありません。ですから、月立小の子どもたちに相手を気遣う心を育てることができたら、すべての子どもたちが楽しいと感じる学校になるはずですよ。

子どもの健全育成には家庭・地域・学校の連携が大切であると思います。是非とも、この機会に子どもたちに相手を気遣う心を育てる指導を一緒になって進めていき、お互いが気持ちよく生活できる学校・家庭・社会をつくりたいものです。



生活・総合発表会より

